

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年6月17日(2021.6.17)

【公開番号】特開2019-198008(P2019-198008A)

【公開日】令和1年11月14日(2019.11.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-046

【出願番号】特願2018-91406(P2018-91406)

【国際特許分類】

H 04 N	5/232	(2006.01)
G 02 B	7/28	(2021.01)
G 03 B	13/36	(2021.01)
G 03 B	17/18	(2021.01)
G 03 B	15/00	(2021.01)

【F I】

H 04 N	5/232	9 4 5
H 04 N	5/232	1 2 7
G 02 B	7/28	N
G 03 B	13/36	
G 03 B	17/18	Z
G 03 B	15/00	Q

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月28日(2021.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像中のピントを合わせる位置を検出する検出手段と、

前記検出された位置を示すガイドを前記画像に重畳した合成画像を生成する処理手段と

、前記処理手段により生成された合成画像を表示する表示手段と、

前記合成画像を生成する処理に用いられる表示情報を、前記検出手段により検出される前記位置の情報に応じて更新する制御手段と、を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記検出手段が検出可能な複数の位置に対応する複数のガイドを含むガイド画像を保持する保持手段を有し、

前記表示情報は、前記複数のガイドのそれぞれと前記画像との合成比率を示す情報を含み、

前記制御手段は、前記複数のガイドのうち、前記検出された位置を示すガイドの透過度ほうが、前記検出された位置を示さないガイドの透過度よりも、低くなるように、前記合成比率を示す情報を更新することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記表示情報は、前記制御手段が更新を行うルックアップテーブルとして保持され、

前記ルックアップテーブルのデータ容量の範囲内で、前記複数のガイドの数に応じて前記合成比率を示す情報の分解能が可変であることを特徴とする請求項2に記載の撮像装置

。

【請求項 4】

前記表示情報は、前記複数のガイドのそれぞれの色情報を示す情報を含むことを特徴とする請求項3に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記ルックアップテーブルのデータ容量の範囲内で、前記複数のガイドの数に応じて前記色情報および前記合成比率を示す情報の分解能が可変であることを特徴とする請求項4に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記ガイドは、前記検出された位置を示す枠線であることを特徴とする請求項1から5のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記検出手段による検出タイミングに最も近い表示タイミングで前記表示情報を更新することを特徴とする請求項1から6のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記ピントを合わせる位置は、オートフォーカス機能による合焦位置または合焦した被写体位置であることを特徴とする請求項1から7のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項 9】

画像を撮像する撮像手段をさらに有し、

前記ガイドは、撮像されたライブビュー画像中のピントを合わせる位置に重畠されることを特徴とする請求項1から8のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項 10】

検出手段と、処理手段と、表示手段と、制御手段を有する撮像装置の制御方法であって、

前記検出手段が、画像中のピントを合わせる位置を検出するステップと、

前記処理手段が、前記検出された位置を示すガイドを前記画像に重畠した合成画像を生成する処理ステップと、

前記表示手段が、前記処理手段により生成された合成画像を表示するステップと、

前記制御手段が、前記合成画像を生成する処理に用いられる表示情報を、前記検出手段により検出される前記位置の情報に応じて更新するステップと、を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 11】

コンピュータに、請求項10に記載された制御方法を実行させるためのプログラム。